

試行事業についてのアンケート
主な自由記載
(特定の者対象)

Q1.ケアの試行において、関与・参加した活動・行為について

Q1-1.ケア実施対象者の指示書の作成

1. 課題があった 2. 課題がなかった

No.	課題の有無	回答の選択理由
4	1. 課題があった	協力依頼があった。(「単に協力依頼があった」という意味であり問題があるということではない。)
5	1. 課題があった	「ケア実施対象者への指示書作成」について、記入欄に記述式と選択式の両方があるとよい。具体的に指示できるような指導ツールの開発が望まれる(開発したい)。
1	2. 課題がなかった	既によく手慣れたヘルパーさん達で、どちらかという患者さまから良い刺激を受けており、ほとんど手技問題ありませんでした。現に、患者さまの外出の機会が多いため、万一ジャバラが引っ張られてカニューレが抜けてしまった時のため、カニューレ交換の手技を関係するヘルパーさんたちに指導しています。

Q2.試行事業全般について、課題や気付いた点

No.	課題や気付いた点
1	既によく手慣れたヘルパーさん達で、どちらかという患者さまから良い刺激を受けており、ほとんど手技問題ありませんでした。現に、患者さまの外出の機会が多いため、万一ジャバラが引っ張られてカニューレが抜けてしまった時のため、カニューレ交換の手技を関係するヘルパーさんたちに指導しています。
2	痰の吸引には様々な経験が必要なもの。多数回実施し、手技に慣れることと、安全面での配慮が必要と思います。
3	開業医(往診医)の急逝により一時的に大学病院ですが、カニューレを交換うけおっているのですが、在宅往診の先生を探しています。本来であれば1日/週の往診をして差し上げたいのですが。

Q1.ケアの試行において、医師・看護職員との連携のもとで、適切にケアを実施できたと思うか。

Q1-1.ケア対象者の状態に関する情報の共有

1.できた 2.まあできた 3.どちらともいえない 4.あまりできなかった 5.できなかった

No.	最も近いと思うもの	回答の選択理由
1	1.できた	看護師が聞きやすい状況を作ってくれて話しやすかった。
4	1.できた	以前よりケアに入っていたので。
9	1.できた	ノートへの記録で情報を共有した。
10	1.できた	皆でミーティングなどをした。
11	1.できた	ノートや口頭での引継ぎにより共有できた。
12	1.できた	話し合う機会を作った。
13	1.できた	皆でノートで状態を確認した。
14	1.できた	皆で話し合った。
15	1.できた	話し合う機会を作った。
17	1.できた	事前に確認した。
6	2.まあできた	申し送りノートを活用しながら共有できた。
7	2.まあできた	記録ノートにて情報の共有ができたと思う。
16	2.まあできた	日誌にて情報をしていた。
3	3.どちらともいえない	その都度ノートに記入されており、参照はしたがそれだけで充分かどうかは不明。

Q1.ケアの試行において、医師・看護職員との連携のもとで、適切にケアを実施できたと思うか。

Q1-2. ケア対象者のケア実施前後の状態の観察

1.できた 2.まあできた 3.どちらともいえない 4.あまりできなかった 5.できなかった

No.	最も近いと思うもの	回答の選択理由
1	1.できた	どういう部分を気をつけて見たらいいのか、看護師が教えてくれた。
2	1.できた	観察した
3	1.できた	しないですることはあり得ない。
4	1.できた	以前よりケアに入っていたので。
7	1.できた	表情やパルスオキシメーターの数値など注意していました。
8	1.できた	実施前に介護に入っていた。
9	1.できた	顔色、表情や、呼吸器の値をしっかりチェックできた。
10	1.できた	常に対象者の状態を確認した。
11	1.できた	毎回観察しながらケアすることができた。
12	1.できた	前後の様子をよく観察した(表情、顔色)
14	1.できた	状態に変化がないか確認した。
15	1.できた	ケアの前後の様子を細かくチェックした。
17	1.できた	変わりある事に情報交換など、家族やケア仲間と出来ている。
18	1.できた	すぐ横に立って見て頂いた。
6	2.まあできた	状態の変化を観察することができた。
13	2.まあできた	時々まれにケア前の手の位置とはちがうところに手を置いてしまった。
16	2.まあできた	表情やサチュレーションを見て観察できた。

Q1.ケアの試行において、医師・看護職員との連携のもとで、適切にケアを実施できたと思うか。

Q1-3. ケア対象者に対する医師の指示の確認

1.できた 2.まあできた 3.どちらともいえない 4.あまりできなかった 5.できなかった

No.	最も近いと思うもの	回答の選択理由
9	1.できた	しっかり確認できた。
10	1.できた	皆にも分かるようノートに書き確認した。
13	1.できた	忘れぬよう毎回メモを確認してできた。
14	1.できた	メモへの記入で確認した。
15	1.できた	医師の指示を細かくメモした。
6	2.まあできた	申し送りノートを活用し、指示の確認を行った。
11	2.まあできた	指示を見落としてしまうことがあった。
12	2.まあできた	医師の指示を確認した。
1	3.どちらともいえない	医師には会わなかった。指示書のもとで吸引などをした。
3	3.どちらともいえない	恐らく、文書と図表化してあるマニュアルがそうであろうがよく分からない。
4	3.どちらともいえない	直接医師の指示は受けていないから。
17	3.どちらともいえない	医師と直接のやりとりはなく、伝達でのやりとり。
7	5.できなかった	直接指示をもらう事がなかった(同席していないため)
16	5.できなかった	医師不在のため直接指示をもらう機会がなかった。

Q1.ケアの試行において、医師・看護職員との連携のもとで、適切にケアを実施できたと思うか。

Q1-5. ケア実施時のケア対象者からの依頼事項の確認

1.できた 2.まあできた 3.どちらともいえない 4.あまりできなかった 5.できなかった

No.	最も近いと思うもの	回答の選択理由
2	1.できた	まばたきでしっかり返答をいただきました。
9	1.できた	毎回確認できた。
10	1.できた	多数の場合はメモを取るなどし、忘れないようにした。
11	1.できた	毎回確認できた。
12	1.できた	どのような時実施するか確認して行った。
13	1.できた	常にメモを書いていた。
15	1.できた	依頼事項を復唱した。
1	2.まあできた	初めて接する方だったので、コミュニケーションの方法がつかめず、看護師が代弁してくれることもあった。
3	2.まあできた	その都度、浅めに吸引、圧が強い等の訴えがある。
4	2.まあできた	コミュニケーションが上手くとれていなかった。
6	2.まあできた	ひとつひとつ確認しながらできた。
7	2.まあできた	利用者様に声かけをしケアをしました。
16	2.まあできた	声かけをしてケアを開始した。
17	2.まあできた	自らというよりは、家族の方や他のケアの人から何かあると伝えられている。
14	4.あまりできなかった	初めメモを取らなかったため忘れることがあった。
18	5.できなかった	意思表示不可のため。

Q1.ケアの試行において、医師・看護職員との連携のもとで、適切にケアを実施できたと思うか。

Q1-7. ケア実施に関する看護職員への報告・連絡・相談(事業所経由でも可)

1.できた 2.まあできた 3.どちらともいえない 4.あまりできなかった 5.できなかった

No.	最も近いと思うもの	回答の選択理由
1	1.できた	時間に余裕をもってきてくださる方だったので、その場で相談や質問ができた。
2	1.できた	その場にいらしたので。
3	1.できた	看護職員にはその都度細やかなコメントを頂き、こちらも相談していた。
9	1.できた	分からないことは確認して、しっかりメモをした。
10	1.できた	何か変化があれば報告した。
11	1.できた	変化や気付いたことがあればすぐに確認や相談をした。
12	1.できた	何か疑問があったらしっかり確認した。
13	1.できた	訪問看護師の方にそのつど状態の報告をした。
14	1.できた	変化を細かく報告した。
15	1.できた	毎回状態の報告をした。
17	1.できた	毎回ケア後はノートに書きとめ情報を交換している。
4	2.まあできた	看護職員の方と長時間一緒にいるわけではない。
6	2.まあできた	分からない事は、聞きながらできた。
7	2.まあできた	普段悩むところなど相談できた。
16	2.まあできた	分からないことは質問し、報告もした。

Q1.ケアの試行において、医師・看護職員との連携のもとで、適切にケアを実施できたと思うか。

Q1-8. ケア実施に関する医師への報告・連絡・相談(事業所経由でも可)

1.できた 2.まあできた 3.どちらともいえない 4.あまりできなかった 5.できなかった 6.機会がなかった

No.	最も近いと思うもの	回答の選択理由
9	1.できた	分からないことは確認して、しっかりメモをした。
10	1.できた	少しでも気になる点は相談した。
12	1.できた	何か疑問があったらしっかり確認した。
13	1.できた	医師にそのつど状態の報告をした。
14	1.できた	変化を細かく報告した。
15	1.できた	毎回状態の報告をした。
4	3.どちらともいえない	ほとんど医師の方とお会いすることがない。
11	3.どちらともいえない	主治医に会う機会が少なくあまりできなかった。
18	5.できなかった	通常のケアで移行。
7	6.機会がなかった	医師へ報告する出来事がなかった。
16	6.機会がなかった	報告項目がなかった。
17	6.機会がなかった	自分がケアに入っている時にそのような機会はなかった。

Q3.基本研修の「講義時間・演習時間・内容」は適切だと思うか。

Q3-1. 重度の肢体不自由者の地域生活等に関する知識(2時間)

時間)1.適切 2.長い 3.短い 内容)1.役立った 2.役立たなかった 3.どちらともいえない

No.	時間	回答の選択理由	内容	回答の選択理由
1	1.適切	重度訪問介護事業者研修で学んだため(3年前)	1.役立った	歴史的な背景など、現在に至るまでの過程を知る事ができたから(3年前)
3	1.適切	このような内容の事柄を学べる機会はほとんどない。興味を持った受講者が引き続き学ぶためにも2hは適切と考えます。	1.役立った	このような内容の事柄を学べる機会はほとんどない。興味を持った受講者が引き続き学ぶためにも2hは適切と考えます。
4	1.適切	-	1.役立った	今まで自分の地域の事しか分からなかったが、地域格差について考えさせられた。
6	1.適切	-	3.どちらともいえない	役立つ事はあるが、この知識の使いどころがわからなかった。
7	1.適切	ちょうど良い時間だと思います。	1.役立った	-
9	1.適切	初めて知ることが多かった。	1.役立った	-
12	1.適切	-	1.役立った	講義を受けるまで知らなかった。
13	1.適切	全てが初めてきちんと聞く内容でしたので、再確認ということでもちょうど良い時間、内容だったと思います。	1.役立った	全てが初めてきちんと聞く内容でしたので、再確認ということでもちょうど良い時間、内容だったと思います。
14	1.適切	全て介護に必要なことだと思ったので、よかった。時間もちょうどよかった。	1.役立った	全て介護に必要なことだと思ったので、よかった。時間もちょうどよかった。
15	1.適切	全ての講義において必要だと思う内容でしたので、時間も含め適切だったと思いました。	1.役立った	全ての講義において必要だと思う内容でしたので、時間も含め適切だったと思いました。
16	1.適切	適切だと思う。	1.役立った	普段の仕事の確認や見直しができてよかった。
17	1.適切	-	1.役立った	知らない事が多く学べた。
2	2.長い	1時間くらいにスパッとまとめていただきたい。	1.役立った	知っていたが改めてわかった。
10	2.長い	前にも聞いた事のある内容のもがいくつかあったので、時間としては長いと感じましたが、内容は役立ったと思います。しかし講義よりも実際にケアに入って学ぶことが多いと感じました。	1.役立った	前にも聞いた事のある内容のもがいくつかあったので、時間としては長いと感じましたが、内容は役立ったと思います。しかし講義よりも実際にケアに入って学ぶことが多いと感じました。
11	2.長い	以前も聞いた事のある内容もあったため。	1.役立った	再確認の意味も含めて役に立った。

Q3.基本研修の「講義時間・演習時間・内容」は適切だと思うか。

Q3-2. 医療的ケアを必要とする重度訪問介護利用者の障害及び支援に関する講義①緊急時の対応及び危険防止に関する知識①(3時間)

時間)1.適切 2.長い 3.短い 内容)1.役立った 2.役立たなかった 3.どちらともいえない

No.	時間	回答の選択理由	内容	回答の選択理由
1	1.適切	学ぶのにちょうど良い時間だった。	1.役立った	なぜ必要なのか、何を目的に行うのかを理解できた。
3	1.適切	講義の後に実際に利用者のもとで学ぶ多さを考えれば、このくらいが適当だと思います。	3.どちらともいえない	ALS患者特有の情動の変化等についても事前に知っておくべき。
4	1.適切	-	1.役立った	なかなか学ぶ機会がなかったが、正しく教えていただきました。
7	1.適切	-	1.役立った	忘れがちになってしまう、第一の清潔に感染防止策など注意する点を思い出した。
9	1.適切	-	1.役立った	ケアの中で気をつけること、緊急時の対応をしっかりとメモできた。
11	1.適切	緊急時の対応や危険防止に関する講義は、興味がありケアする上でも不安の残る点だったため、しっかりと時間をかけて学ぶことができよかった。	1.役立った	緊急時の対応や危険防止に関する講義は、興味がありケアする上でも不安の残る点だったため、しっかりと時間をかけて学ぶことができよかった。
12	1.適切	-	1.役立った	種類が色々あり、対応も異なることがわかった。
15	1.適切	全ての講義において必要だと思う内容でしたので、時間も含め適切だったと思いました。	1.役立った	全ての講義において必要だと思う内容でしたので、時間も含め適切だったと思いました。
16	1.適切	適切だと思う。	1.役立った	普段の仕事の確認や見直しができてよかった。
2	2.長い	2時間くらいでいいと思う。長く座っているのは慣れないので疲れる。	1.役立った	概要で覚えていたことがより深く学べたと思う。
6	2.長い	軽く知識として頭に入れておく程度で良いと思います。	1.役立った	気をつけないといけないことなので役立った。
17	2.長い	長いというか、教科書に書いてあることだから読めばわかるから、わからない所とかもう少し時間を有効に出来ると思う。	1.役立った	-
8	3.短い	もう少し時間をかけて学びたかった。	1.役立った	-

Q3.基本研修の「講義時間・演習時間・内容」は適切だと思うか。

Q3-3. 医療的ケアを必要とする重度訪問介護利用者の障害及び支援に関する講義②緊急時の対応及び危険防止に関する知識②(3時間)

時間)1.適切 2.長い 3.短い 内容)1.役立った 2.役立たなかった 3.どちらともいえない

No.	時間	回答の選択理由	内容	回答の選択理由
3	1.適切	長くも短くもない。	1.役立った	呼吸器を扱う会社の方に直接お話を伺う機会を持てるのは良いです。
7	1.適切	適切な時間だが、緊急時の対応策(アンビューなど)今でも、今だからこそ不安になる要素をじっくり学びたかったかも。	1.役立った	解っているようで理解できていない所もあった仕組みなどを学べたと思う。
9	1.適切	-	1.役立った	それぞれの部品の名称など、初めて知ることがけっこうあった。
12	1.適切	-	1.役立った	仕組みを知ることで対応等につながる。
15	1.適切	全ての講義において必要だと思う内容でしたので、時間も含め適切だったと思いました。	1.役立った	全ての講義において必要だと思う内容でしたので、時間も含め適切だったと思いました。
16	1.適切	適切だと思う。	1.役立った	普段の仕事の確認、見直し、更に学ぶことができました。
2	2.長い	2時間くらいでいいと思う。長く座っているのは慣れないので疲れる。	1.役立った	より深く学べたと思う。
6	2.長い	軽く知識として頭に入れておく程度で良いと思います。	1.役立った	仕組みが分かり、頭の中でイメージができると支援に入れやすい。
1	3.短い	DVDはくり返し見たかった。実演の様子も、もっと近くで見たかった。	1.役立った	最初の理科や生物の分野の部分は理解していることなのでもっと浅くても良いが、後半部分はもっとあつく学びたかった。DVDをプリントした資料が書き込みやすく、後からも役立った。
4	3.短い	-	1.役立った	今までやってきた事を、正しく学ぶ事ができたと思います。

Q3.基本研修の講義時間・演習時間・内容」は適切だと思うか。

Q3-4. 吸引・経管栄養の演習(1時間)

時間)1.適切 2.長い 3.短い

内容)1.役立った 2.役立たなかった 3.どちらともいえない

No.	時間	回答の選択理由	内容	回答の選択理由
2	1.適切	人数によると思う。	1.役立った	普段行っていることの復習にはなったと思う。
3	1.適切	講義の後に実際に利用者のもとで学ぶ多さを考えれば、このくらいが適当だと思います。	3.どちらともいえない	利用者、看護職員との見解の相違が甚だしく過ぎる。(演習自体はGood)
6	1.適切	-	1.役立った	ある程度吸引の手順を理解している方が、利用者の方も安心すると思う。
7	1.適切	普段通りにスムーズにできたと思う。	1.役立った	普段の自分のやり方は、利用者様個別性のあるものだが、改めて基礎を見直せたと思う。
9	1.適切	-	1.役立った	看護師の方から適切な指導が受けられた。
15	1.適切	全ての講義において必要だと思う内容でしたので、時間も含め適切だったと思いました。	1.役立った	全ての講義において必要だと思う内容でしたので、時間も含め適切だったと思いました。
16	1.適切	-	1.役立った	普段はできない(私の場合は経鼻経管栄養)の体験ができてよかった。
11	2.長い	経験のある者にとっては、何回目かの演習なので長く感じてしまいました。	1.役立った	-
17	2.長い	自分がやったのは短く待ちが多く、もう少し効率よく出来ると思う。	1.役立った	基本など再確認した。
1	3.短い	重訪の研修以来だったので、ほとんど分からずとても足りなかった。	1.役立った	ビデオで見たこと以外にも細かいアドバイスが頂けて勉強になった。
4	3.短い	-	1.役立った	時間がなくゆっくりできなかったことが残念。
5	3.短い	人数多いため、一人当たりの演習回数が少ないかも知れません。	1.役立った	-
12	3.短い	演習の回数が少なく待つことが多かった。	1.役立った	演習したことで手順が頭に入り具体的にわかった。

Q5. 試行事業全般について、課題や気付いた点

No.	課題や気付いた点
1	今回の事で、初めてお会いするケア対象者だったが、明るくて、穏やかな方で、なおかつ表情(とくに目や眉)の動きが分かりやすく、私でも「はい」「いいえ」がわかり、失敗や間違いなど重大なミスなく終えることができた。今回は、恵まれたケースだったが、場合によってはこういった手技からではなく、コミュニケーションがとれるようになってから臨んだ方が学びやすいのではないかと思った。
3	試行事業の試みそのものは評価しますが、内容が専門化してゆくにつれ、吸引を行う新規のヘルパーが減少していくのではないかと危惧します。個人的には「グレーゾーン」を許容する(日本人的?)心性を活用(悪用?)すべきかと思います。座学時の演習時の講師と利用者・看護職員の見解の相違が甚だしく戸惑いました。看護職員のあまりにも厳しいチェック体制が、新規のヘルパーの意欲を萎縮させることを危惧します。
4	利用者さんへのからだの負担について、例えば吸引を行わなくても良いのに、試行事業のためと吸引を行う事に心苦しい思いをした。看護職員の方に、通常のケアが試行事業をする事で、時間がそちらの方へ取られてしまい申し訳ないと思った。
7	仕方がないことですが、指導者によって評価の仕方があまりにも違いすぎる気も…。
8	看護師指導の月日の間が長くあかないようにして欲しい。間隔があくと忘れてしまうから。
14	実施回数については、すべてにおいて多いと感じました。利用者の方が研修のために吸引をさせてくださったり、少し無理があるなと感じました。
17	お宅によってやり方が違うので、全てのお宅で何回とか決まってしまうと、出来る事が違うので難しいと思う。
18	現在すでに仕事として実施している私にとっては、内容を再確認したり、講義を受けて、教えられてそうしていた事柄の、そうしなければいけない理由がわかったりしたのは良かった。全く初めて実施する方、もしくは仕事初の自分だったら、もっと実習時間が欲しいと思ったかも知れないが、個別性の面から考えると、それぞれの利用者にしっかり取り組むのが何よりと思う。

Q1.ケアの試行において、医師・看護職員との連携のもとで、「介護職員は適切にケアを実施できた」と思うか。

Q1-1.ケア対象者の状態に関する情報の共有

1.できた 2.まあできた 3.どちらともいえない 4.あまりできなかった 5.できなかった

No.	最も近いと思うもの	回答の選択理由
4	1.できた	事前のオリエンテーション時から高い研修意欲が介護職員にあったため。
5	1.できた	ケアノートの確認。前任者からの情報・引継ぎ。
6	1.できた	申し送りのノートの活用とご本人からの状態報告があったため。
7	1.できた	状態に関する質問も多く良かったと思う。
8	1.できた	すでにケアに入っていたので、状態をよく理解していた。
9	1.できた	連絡共有ノートで
14	1.できた	連絡ノートで情報交流
15	1.できた	連絡ノートを見る、直接話を聞くことをおこなった。
11	2.まあできた	夜間に関しては不十分
1	3.どちらともいえない	連絡ノートで情報交換しているが、本人がどのくらい把握しているかは不明。
2	3.どちらともいえない	細かいところまで確認する時間なし。

Q1.ケアの試行において、医師・看護職員との連携のもとで、「介護職員は適切にケアを実施できた」と思うか。

Q1-2. ケア対象者のケア実施前後の状態の観察

1.できた 2.まあできた 3.どちらともいえない 4.あまりできなかった 5.できなかった

No.	最も近いと思うもの	回答の選択理由
4	1.できた	経験者でもあるので、観察ポイントがわかっている為。
5	1.できた	前任者からの情報。直接ケア対象者の観察、確認。
6	1.できた	看護師の訪問時間内で実施できた為。
9	1.できた	連絡共有ノートで
10	1.できた	連絡ノートでの申し送り
14	1.できた	本人の意思確認後吸引している。
15	1.できた	表情等の観察を行えた。
1	2.まあできた	痰の貯留状態をバイタルサインでは観察していた。
7	2.まあできた	ケア後の観察が足りないところがあり声かけをした。
8	2.まあできた	ケア後は時々片付け動作に移って十分見ていないこともあった。
2	4.あまりできなかった	短時間の中で不十分。

Q1.ケアの試行において、医師・看護職員との連携のもとで、「介護職員は適切にケアを実施できた」と思うか。

Q1-3. ケア対象者に対する医師の指示の確認

1.できた 2.まあできた 3.どちらともいえない 4.あまりできなかった 5.できなかった

No.	最も近いと思うもの	回答の選択理由
4	1.できた	吸引が特別なことではないので、(介護の一部という認識)問題なくできた。
5	1.できた	指示書(予め確認)
8	1.できた	ノートやFaからの情報をきちんと把握していた。
9	1.できた	指示書で
10	1.できた	表情観察や問いかけを行っていた
1	2.まあできた	医師からは特別な指示なし(一般的な内容)
6	3.どちらともいえない	ご本人から主治医への確認をされていたこともあり、改めて確認をしなかったため。
11	3.どちらともいえない	多分
15	3.どちらともいえない	不明
2	4.あまりできなかった	確認していない。

Q1.ケアの試行において、医師・看護職員との連携のもとで、「介護職員は適切にケアを実施できた」と思うか。

Q1-7. ケア実施に関する看護職員への報告・連絡・相談

1.できた 2.まあできた 3.どちらともいえない 4.あまりできなかった 5.できなかった

No.	最も近いと思うもの	回答の選択理由
4	1.できた	一番よく出来た。こちらも他の指導で介護者が習って来た事を知る手がかりが勉強になった。
6	1.できた	試行中は、ケア実施前後の時間で話す機会が十分にあったため。
8	1.できた	質問や確認など自分から話していた。
10	1.できた	必要時には連絡があった
5	3.どちらともいえない	ケア対象者へ確認してきた。
15	3.どちらともいえない	問いかければ情報提供をする。
2	4.あまりできなかった	その場で分からない事については相談を受けた。
1	5.できなかった	行った場面を見ていない。

Q1.ケアの試行において、医師・看護職員との連携のもとで、「介護職員は適切にケアを実施できた」と思うか。

Q1-8. ケア実施に関する医師への報告・連絡・相談

1.できた 2.まあできた 3.どちらともいえない 4.あまりできなかった 5.できなかった 6.機会がなかった

No.	最も近いと思うもの	回答の選択理由
10	1.できた	看護から毎月主治医へ報告している
12	1.できた	毎月の報告案内
4	2.まあできた	医師へ直接の報告ではないが出来た。
5	3.どちらともいえない	実施研修期間中にはその必要性がなかった。
6	3.どちらともいえない	試行中、特に報告や相談を必要とすることが起きなかったため。
8	6.機会がなかった	Drとの関わりなし
11	6.機会がなかった	多分

Q2.「ケアの試行の実施体制は適切であった」と思うか。

Q2-1. 安全対策に関する委員会等(ケアカンファレンス等を含む)の活動

1.適切 2.まあ適切 3.どちらともいえない 4.あまり適切ではない 5.適切ではない

No.	最も近いと思うもの	回答の選択理由
4	1.適切	カンファレンス(打合せを含む)で試行事業の意味がよく伝わり、これに積極的に応じようと思う程理解できた。
8	1.適切	今回関わりの中では、カンファレンスはありませんが、前回のものが継続されています。今回関わったのは1ヶ月程度ですので、その中にすべてのものはありませんが、在宅の中では年単位で継続している事を考えています。
2	2.まあ適切	守ってもらうことについては、共有し説明していった。
5	3.どちらともいえない	関わる機会がなかった。
1	4.あまり適切ではない	委員会の存在自体不明。

Q2.「ケアの試行の実施体制は適切であった」と思うか。

Q2-2. ケア対象者の健康状態に関する職種間での情報交換の体制

1.適切 2.まあ適切 3.どちらともいえない 4.あまり適切ではない 5.適切ではない

No.	最も近いと思うもの	回答の選択理由
4	1.適切	よく知っている対象者ではあるが、なれあいなく対応していたところに。
5	1.適切	連絡ノート、家族からの報告。
8	1.適切	本人のケアノートへの記録と、各々の読後確認サイン等、Faを通しての情報伝達。
9	1.適切	共有ノートで
10	1.適切	介護ノートと看護ノートがある
15	1.適切	毎日ミーティングを行っている。
2	2.まあ適切	互いに申し送りしていた。
1	3.どちらともいえない	連絡ノートにて行っていた。
6	3.どちらともいえない	申し送りでは健康状態に関する情報は殆どなく、手順や予定の変更が多かった。奥様からのみ、その情報が得られました。

Q5. 試行事業全般について、課題や気付いた点

No.	課題や気付いた点
1	<p>実地研修の時間が短く、回数が非常に少なかった。指導をした後に安全に実施できているのか不安が残る。又、対象の家族の体の状態の理解やひとつひとつの行為の根拠が十分に理解されているか、疑問が残る。医学用語は難解ですし、解剖生理も難しいので、ある程度基礎的な知識が備わっていないと大変なように思います。(例えば介護福祉士の資格のある方など)</p>
2	<p>回数については、対象者によって異なる。回数を多くやれば良いというわけではない。利用者を行う前に、事前に演習を多く行い、現場では確認だけにしてもらわないと、利用者への負担が大きいし、こちらにも負担がかかってしまう。</p>
4	<p>一つの事を成す時にこんなにも時間や細かい文章を作る事はどんなご苦労がこのアンケートを見ても大変さがわかります。痰や栄養に関しては生きる為の当たり前の行為と思っているので、これをわざわざ形にすることが何とも不思議なことです。世の中にたくさんのナースがいます。一人が3人受け持ち指導していけば、特に時間もかからず負担もなくさっと自分達の同志が育ち世のためになると思えば良いくらいの気持ちであります。でも、それにはいろんなしがらみプライドがとがめるのでしょうか？また、責任の所在が一番の問題でしょうか？こんなにも大変なことになること事体？です。学生の時を考えてみれば皆素人でした。ナースの皆様も一ヶ月在宅介護で本来の生活を見ると考え方が変わってくるかもしれません。そんな人たちが増えて欲しい。バリアフリーと言いつつバリアがあるのは我々かもしれません。生活の中に入ると、介護者もナースも同じ仲間なんですがね。この幸せは結構他では味わえない幸せと思うのです。普通に…感じるのです。</p>
5	<p>今回担当した介護職員は通常夜勤(21時～)のため、研修期間は少し早めて19時半から研修していただいた。ケア対象者のご協力と研修生(介護職員)双方の調整で出来たことと言える。通常、夜間帯の訪問看護は緊急時以外していない為、制度施行後は、看護との連携、指導体制も柔軟に工夫が必要。</p>
6	<p>利用者さんが主体となって進んでしまったので、事前に関係者が集まって適切にケアが行われるための注意点などを理解できると良かった。又、途中で様式が変更になったりしたので混乱しました。実地指導者と研修者用の評価表は、可能な限り同じ用紙内に納めた方が評価しやすいように思いました。複数人の研修が、ほぼ同じ時間(私の場合、訪問看護1時間半の時間内)に実施されるのは利用者負担になったように感じました。ヒヤリハットについての理解が不十分だと思いました。</p>
8	<p>吸引、胃ろう注入等は施設での方法とは違い、手順書とおりではない部分、手順書が適応しない部分も多い。基本施設での方法をマスターした上で在宅での方法(家族、本人によって違う)にするのであれば、まず施設又は研修で、基本の方法を身につける必要があると思います。しかし、在宅ですでに仕事をしているヘルパーであれば、できていることをきちんと評価し、できていない部分を実地研修で強化するという方法も必要だと思います。(かなりの個人指導が必要?)今後の新人ヘルパー育成することと、現在のヘルパーの追加研修は違った形で実践していくことも必要だと思います。(個人としての意見です、所属施設の考え方ではありません。</p>
9	<p>業務時間内におこなったのはタイトで大変だった。通常のケアが短縮されたことが利用者の不満になっていた。あまり、難しいことをするとヘルパーさんが定着しなくなると心配。</p>
11	<p>吸引回数、練習日数個人差あり。一概に〇回とは言えない。介護者によって習得度異なる。柔軟にフォローできるしくみ要。療養者様なかなか自宅におらず、営業時間内での指導困難。</p>
13	<p>多くの介護者がいる場合、対象が一人というのは負担が大きいと思いました。</p>

Q2.「ケアの試行の実施体制」は適切であったと思うか

Q2-1.安全対策に関する委員会等(ケアカンファレンス等を含む)の活動

1.適切 2.まあ適切 3.どちらともいえない 4.あまり適切ではない 5.適切ではない

No.	最も近いと思うもの	回答の選択理由
1	1.適切	ケア会議で、看護師、医師、ケアマネなどよく話せた。
2	1.適切	日常生活そのものであった。
3	1.適切	カンファレンスで職種間での話がよくできた。

Q2-2.ケア対象者の健康状態に関する職種間の情報交換の体制

No.	最も近いと思うもの	回答の選択理由
1	1.適切	共有ノートを活用していた。
2	1.適切	日常生活そのものであった。
3	1.適切	共有ノート、電話でとれた。

Q2-3.記録等の作成・共有化

No.	最も近いと思うもの	回答の選択理由
1	1.適切	共有ノートを活用している。
2	1.適切	日常生活そのものであった。
3	1.適切	共有ノートを利用。

Q2-4.ヒヤリハット事例等の蓄積・分析の実施体制

No.	最も近いと思うもの	回答の選択理由
2	1.適切	なかった
3	1.適切	共有ノート、電話で対応。
1	2.まあ適切	ケアマネを通じたり、訪問看護師さんとTelで話していた。

Q1.介護職員は、ケアの試行において、医師・看護職員との連携のもとで「適切にケアを実施できた」と思うか

No.	適切にケアを実施できたか
1	<p>医師・看護職員と綿密な連携のもと、介護職員によるケアの試行は非常にスムーズかつ適切に実施されていました。危険や疑問を感じることもなく、指導者、介護職員、ケアを受ける対象者（患者）、ともにしっかりした信頼関係が構築されていたことが大変大きかったと思います。自分の意思をスムーズに伝えることが難しく、また現状を目線で確認したくても首などが動かない患者に対して、指導者、介護職員ともに、患者の目線で前で物事を進め、また口頭でもひとつひとつ丁寧に現状を伝えることで、これからどういう事をしようとしていて、何について質疑応答がなされていて、どこが難しいと感じているのか、など患者に不安を感じさせないようにリアルタイムかつスムーズに伝えられているところが素晴らしかったと思います。事前に看護職員から渡された書類で必要な知識を勉強されるなど、看護職員、介護職員、双方の高い志も素晴らしかったと思います。こうしたことも患者にとって大きな安心につながりました。</p>
2	<p>実施できた。医師・訪問看護さんとの連絡を綿密に取りながら、患者本人を交えて細かな疑問や不安を一つ一つなくす様にしました。アイコンタクト、日頃の癖、表情を見て慣れてもらい、不安な気持ち=苦痛をなくして、日常の自分のケアをスムーズに行えた。</p>
3	<p>在宅での療養を13年以上しており、患者にあったケアがある。教科書通りのケアと患者が求めるケアは違う。教科書等で禁忌とされているケアも患者にとってはBetterな部分もある。又、個人差があるので、それぞれに合ったケアが重要です。</p>
4	<p>適切に実施できた。試行事業に参加した5名の介護者は、経験や技能に大きなばらつきがあり、指導看護師さんがその技能に応じた指導を実施してくれたので、適切な状態であった。</p>
5	<p>適切にできたと思うが、訪問看護ステーションの利用者が多く、スケジュールの調整に時間がかかった。日頃のケアが手薄になってしまったことは残念。</p>
6	<p>適切にケアを実施できました。</p>
7	<p>我が家の吸引方法・経管栄養の方法について指導看護師さんがよく話を聞いてくださいました。何の問題もなくできました。</p>

Q3.介護職員は、実地研修において、医師・看護職員との連携のもとで「適切に実地研修を実施できた」と思うか

No.	適切に実地研修を実施できたか
1	当初、ケアを受ける側としては、長時間にわたる実地研修が行われると、体調を考慮すると少し抵抗がありましたが、事前に書類などを通じて、ケアの重要性・危険性・注意点、さらに必要最低限の介護知識に確認等がなされていたため、非常にスムーズに実地研修が適切に実施できたと感じております。実地研修に係ったすべての皆様の高い志としっかりした意欲に心から感謝申し上げます。
2	実施できた。お互いにスケジュールを確認し、毎回同一の看護師さんのもとで、進める事が出来た。訪問看護師さんとの連絡を綿密に取りながら、患者本人を交えて、お互いの細かな疑問や不安な点を一つ一つなくし、丁寧な指導が出来た。
3	看護職員(今回実施した)は長年患者の看護を行っており、患者自身はよりケアを熟知しており、それに沿った指導を実施していただけたと思う。
4	適切に実施できた。
5	訪問看護ステーションの訪問時間が9時～17時であったため、試行事業中は外出の調整が困難を極めた。
6	適切に実地研修を実施できました。
7	こちらの気持ちをよく聞いてくれた上で指導してくださいました。

Q4. 試行事業全般について、課題や気付いた点

No.	課題や気付いた点
1	<p>試行事業は、始終大変スムーズに行われました。指導者、介護職員と、受けてである患者のしっかりした信頼関係が構築されていたことと、事前にきちんと書類等でケアの流れや知識を把握されていたことが大変良かったと思います。長時間にわたる研修は、利用者にとっても体調面等で負担が大きくなることも懸念されます。きちんと流れを把握し、事前に書類等で必要最低限の予備知識を身につけてから実地研修にのぞめば、短時間で、効率よく、介護職員はケアを習得する事が可能だと思いました。ケアの内容自体は単純作業で、短時間で終了しますし、決して難しい内容ではありません。ケアの流れ、ケアの意味、ケアに使用する器具等の知識、ケア中に気をつけること、これらがしっかり理解できていれば、志ある方ならば、どなたでも短時間でしっかりしたケアの習得が十分可能であると思います。必要以上に時間を割く必要はないと思いました。ぜひとも、一連の作業に従事できる者への門戸を開き、ケアに対する垣根を低くしていただき、より円滑な介護が成り立つ社会の実現を切に願っております。</p>
2	<p>短期集中で。</p>
3	<p>試行事業で20回以上等々の研修が課せられているが、そうなるに対応してくれる事業所がなくなるのではと非常に危惧しています。</p>
4	<p>試行事業は極めて適切だったと思う。考えられる課題は、①指導看護師次第で実地研修の進め方にかなり差が出ること。②経験と技能が十分に備わった介護者と、新人とが同じカリキュラムであること。③利用者の評価が全く反映できないこと。</p>
5	<p>もっとシステム化すれば短時間で習得できる。</p>
7	<p>あまり厳しくしないでほしい。お互いに無理のないスケジュールでやってほしい。</p>